

- 問1 日本の多くの自治体では、居住地域に関わらず、すべての住民が等しく適切な医療を受けられる体制を整える取り組みが進められています。このような、住んでいる場所によって受けられる医療の質に違いが出ないようにすることを何と呼びますか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 医療サービスの格差是正
 2. 情報通信技術の普及促進
 3. 教育サービスの均等化
 4. 公共交通機関の利便性向上
- 問2 国家の役割と国民の負担に関する統計において、「公共サービスの充実度」を縦軸に、「国民の税負担の重さ」を横軸にとった場合、公共サービスが非常に充実しており、かつ税負担も重い領域に該当する「大きな政府」の仕組みについて、その背景や特徴を説明したものとして適切なものはどれか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 世界恐慌などの不況に対応し、雇用創出や社会保障の拡充を通じて景気を安定させることを重視する。
 2. 国民の負担を最小限に抑える代わりに、福祉や医療などの公共サービスは自己責任に基づいて購入する。
 3. 経済活動を個人の自由任せにすることで、政府の支出を極限まで減らし、減税による経済活性化を目指す。
 4. 国防や治安維持などの最小限の活動のみを政府の役割とし、公共サービスを民営化して効率化を図る。
- 問3 所得が多くなるにつれて、適用される税率が段階的に高くなっていく課税の仕組みを何というか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 累進課税制度
 2. 一律課税制度
 3. 比例税率制度
 4. 逆進的課税制度
- 問4 日本の所得税などで採用されている、所得の金額が高くなるにつれて、適用される税率も段階的に高くなる仕組みを何といいますか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 比例税率
 2. 累進課税
 3. 逆進性
 4. 固定資産税
- 問5 日本の社会保障制度には「社会保障の四つの柱」と呼ばれる主要な分野があります。このうち、生活に困窮して自力で最低限の生活を維持できない人々に対し、日本国憲法第25条に規定された「生存権」を保障する考え方に基づき、国が税金を使って生活費や教育費などを支給する制度を何といいますか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 社会福祉
 2. 公的扶助
 3. 公衆衛生
 4. 社会保険
- 問6 日本の社会保障制度において、生活保護法に基づき、生活に困窮する人々へ生活費や住宅費などを支給して「最低限度の生活」を保障し、自立を支援する制度を何といいますか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. 公衆衛生
 2. 社会保険
 3. 社会福祉
 4. 公的扶助
- 問7 消費税は所得の額に関わらず全員に同じ税率が適用されますが、その結果として、所得の低い人ほど所得に占める税負担の割合が相対的に高くなるという性質を持っています。このような消費税の性質を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 累進性
 2. 逆進性
 3. 所得再分配
 4. 垂直的公平
- 問8 日本の社会保障制度の一つである介護保険制度について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 経済的に困窮して最低限度の生活が維持できない人に対し、国が税金をもとに生活費などを支給する公的扶助制度。
 2. 現役世代の所得を高齢者に仕送りする仕組みであり、20歳以上のすべての国民が加入して保険料を支払う義務がある公的年金制度。
 3. 病気やけがをした際の医療費負担を軽減するため、すべての国民が加入して所得に応じた保険料を納付する医療保険制度。
 4. 高齢者の介護を家族だけでなく社会全体で支えることを目的とし、40歳以上の国民に保険料の納付が義務づけられている社会保険制度。
- 問9 現在の日本の財政において、歳入のうち税収などで賄いきれない不足分を補うために発行されている「公債」に関する説明として、仕組みや背景を正しく述べているものはどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 地方公共団体が国に無償で提供する寄付金のごとである。
 2. 日本銀行が政府の許可なく、通貨を増刷して全てを賄う仕組みである。
 3. 返済の義務がない資金であり、国の純粋な利益として計上される。
 4. 将来の世代が返済の負担を負うことになる、国による借金である。
- 問10 スウェーデンなどの北欧諸国では、国民の税や社会保険料の合計が国民所得に占める割合（国民負担率）が、国民所得の半分以上を超える高い水準にあります。このような「大きな政府」と呼ばれる政策のあり方について、その特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 国民の金銭的負担を軽く抑えつつ、不足する財源を他国からの借入で補うことで、高水準の社会保障制度を維持しようとする仕組み。
 2. 国民の金銭的負担を重くすることで、増え続ける国の借金（公債）を返済し、将来的に公共サービスをすべて民営化することを目指す仕組み。
 3. 国民の金銭的負担をできる限り軽くすることで、民間の経済活動を活性化させ、社会保障は個人の自己責任を基本とする仕組み。
 4. 国民の金銭的負担を重くする代わりに、医療・教育・福祉などの社会保障や公共サービスを国が手厚く提供し、国民生活の安定を図る仕組み。
- 問11 日本の財政において、国債費が増大することによる影響や背景について述べた文として、背景や仕組みをふまえて最も適切に説明しているものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 国債費の金額が増加しているのは、景気が良くなり税収が大幅に増えたことで、借金の繰り上げ返済が進んでいるからである。
 2. 国債費が増大すると、予算の多くが借金の返済に充てられるため、新たな政策を実施するための財源が確保しにくくなる。
 3. 国債費は道路や橋などの公共施設を作るための建設費用であるため、金額が増加するほど社会資本が充実する。
 4. 国債費の増大は、国が地方公共団体に対して自由に使えるお金を配分するために意図的に行っている政策である。
- 問12 税金は「納税義務者（税金を納める人）」と「実質的な税負担者（税金を支払う人）」が同じか異なるかによって分類されます。消費税のように、商品の価格に含まれる形で消費者が負担し、事業者が代わりに納める税金の分類名と、所得税に適用される課税方式の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 消費税は直接税に分類され、所得税には所得に関わらず一定の金額を徴収する仕組みが適用される。
 2. 消費税は間接税に分類され、所得税には所得が高いほど税率が上がる累進課税が適用される。
 3. 消費税は直接税に分類され、所得税には納税者と負担者が異なる所得の再分配が適用される。
 4. 消費税は間接税に分類され、所得税には所得が低いほど税率が上がる逆進的な仕組みが適用される。
- 問13 日本の一般会計歳出の内訳において、社会保障関係費に次いで2番目に高い割合を占めており、過去に発行した国債の元本返済や利子の支払いに充てられる費用を何というか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 防衛費
 2. 地方交付税交付金
 3. 国債費
 4. 公共事業費